

授賞式 Awarding Ceremony

11.28.SAT at 立命館朱雀キャンパス 5F 大講義室

グランプリ・準グランプリ作品上映&コンペティション受賞監督を交えての徹底討論

Grand-prix, semi-grand-prix works will be screened and hot discussion will be held by the judges and the directors.

11月28日(土)立命館朱雀キャンパス 5F 大講義室にて、グランプリ・準グランプリ受賞の3作品を上映致します。また、最終審査員と受賞監督による徹底討論も実施。監督方のなまの想いが聞ける貴重な機会ですので是非ともご来場ください。

One Grand-prix and two Semi-Grand-Prix films will be selected from 12 nominations. These works will be screened at the 5th floor lecture hall at Ritsumeikan Suzaku campus on November 28th, 2009. Active and in-depth discussion will be held by the final jury and the prize-winning directors. It is a precious opportunity to hear their actual thought straight from their own mouths. Please come and join the screening.

第21回東京学生映画祭連携企画 グランプリ相互上映 第21回東京学生映画祭グランプリ作品『シュナイダー』上映+監督トークショー Tie-Up program - Screening the 21th TOGAKU-SAI Grand-prix film 『Schneider』 -



あらすじ

人々は光よりも闇を愛した…。田舎のレストラン。お店の後ろには自殺の名所と言われる森。そのレストランを営む佐伯の夫、洋一は2週間前から行方不明になっていた。

監督：頃安祐良

1984年岡山県生まれ。日本大学芸術学部大学院2年生。映像団体「三代川達(みよかわたち)」に所属し、年に1~2本の映像を制作。

最終審査員来場!



第12回京都国際学生映画祭 Kyoto International Student Film & Video Festival 2009

2009.11.21 sat - 11.28 sat

タイムテーブル Timetable

会場：京都シネマ Kyoto Cinema

立命館朱雀キャンパス
5F 大講義室
The 5th floor lecture hall at
Ritsumeikan Suzaku campus

	21日 (sat)	22日 (sun)	23日 (mon)	24日 (tue)	25日 (wed)	26日 (thu)	27日 (fri)	28日 (sat)
14:00~	開会式特別企画 加藤久仁生 作品上映 & トーク Opening event	コンペティ ション B Competition B	コンペティション 特別プログラム A Competition special program A	コンペティ ション E Competition E	コンペティション 特別プログラム B Competition special program B	コンペティ ション B + トーク Competition B + Talk show	最終審査員 作品上映 安岡卓治 「A」 Takaharu YASUOKA 「A」	最終審査員来場! 授賞式 Awarding Ceremony 第21回 東京学生映画祭 グランプリ作品 上映 + トーク
17:00~	コンペティ ション A Competition A	コンペティ ション C Competition C	コンペティ ション D Competition D	CLOSED	コンペティ ション C + トーク Competition C + Talk show	コンペティ ション D + トーク Competition D + Talk show	コンペティ ション A + トーク Competition A + Talk show	授賞式 受賞作品発表 14:15~
19:30~	招待上映 『へばの』 & トーク Special screening	特別企画 越境者たち 科学映画 & 芸術映画 Aプログラム Beyond the Border A program	特別企画 越境者たち 科学映画 & 芸術映画 Bプログラム Beyond the Border B program	特別企画 学生って何んだい? サイレント青春映画 活井上映 "Katsuben" Silent film	最終審査員 作品上映 伊藤高志『SPACY』 他5作品 + トーク Takashi ITO『SPACY』 etc + Talk show	最終審査員 作品上映 熊切和嘉 『鬼畜大宴會』 Kazuyoshi KUMAKIRI 『KI-CHIKU』	コンペティ ション E + トーク Competition E + Talk show	徹底討論 18:10~ 閉会のあいさつ など... 19:30~ ※授賞式は終日! プロ グラムになります。

11.21 SAT - 27 FRI
京都シネマ

11.28 SAT (授賞式)
立命館朱雀キャンパス
5F 大講義室

(主催)財団法人大学コンソーシアム京都
(企画運営)第12回京都国際学生映画祭実行委員会
(運営支援)京都国際学生映画祭企画検討委員会

(助成)芸術文化振興基金

(後援)京都府、京都市、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、
京都新聞社、朝日新聞京都支局、
毎日新聞社京都支局、
読売新聞京都支局、産経新聞社京都支局、
日本経済新聞社京都支社、中日新聞社、
NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、
FM802、近畿経済産業局、国際交流基金、
京都 知恵と力の博覧会

(特別協賛) (株) 舞プロモーション、京都シネマ
(協賛) (株) 廣済堂、
学校法人東放学園大学映画専門大学院大学、
(有) レザーアートイマがわ、
(株) 響映、キョウファシリティアーズ(株)、
大学生協京都・奈良地域センター、
(株) ミラノ工務店、
松竹(株)、(株) 同志社エンタープライズ、
(株) 船はしや總本店
(連携) 京都シネマ、第7回京都学生祭典、
第21回東京学生映画祭
(協力) まなびや 2009、
東京国立近代美術館フィルムセンター

ACCESS



京都市下京区四条烏丸下る西側/
COCON 烏丸 3 F
●地下鉄烏丸線「四条」駅下車。
地下鉄四条駅北改札から2番出口へ
●阪急京都線「烏丸」駅下車。
西改札から23番出口へ



立命館朱雀キャンパス
Ritsumeikan Suzaku Campus
京都市中京区西ノ京朱雀町1
●JR・地下鉄「二条」駅下車。徒歩約2分。
●阪急「大宮」駅下車。徒歩約10分。

TICKET

チケット料金 《前売り、当日とも》
TICKET: Both 'Advance ticket' and 'A Day Ticket' are the same price.
1 回券...500円
8days Pass...2000yen(with an Official Booklet)
フリーパス...2000円 ★11月21日~28日の全てのプログラム
において何度でもご利用いただけます。
《本映画祭パンフレット付き》
※フリーパスをお買い上げのお客様は身分の証明できるものをお持ちください。
パンフレットは当日会場にてお渡しします。
(if you bought the free pass) Please bring ID card to the hall on that day. We will give the official booklet
at the hall on that day.

京都シネマ、京都の大学生協にて前売り発売中!!
You can buy the Advance ticket at KYOTO CINEMA and Co-op stores of universities in Kyoto now.
【チケットに関するお問い合わせ】京都シネマ【TEL】075-353-4723 まで

《HP》
<http://www.kisfvf.com/>

【その他内容に関するお問い合わせ Contact us】
第12回京都国際学生映画祭実行委員会
〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下ルキャンパスプラザ京都(月曜休)
【TEL】075-353-9430 【FAX】075-353-9431 【E-MAIL】kisfvf2009@hotmail.co.jp



Concept

京都国際学生映画祭は本年、12年目を迎えます。この映画祭は、京都を中心に関西の学生が企画運営を行い、学生が監督した優れた映画・映像作品を上映してきました。本映画祭では毎年テーマを定めており、本年度は「摩擦」というテーマの下企画を進めてきました。「摩擦」という言葉には、ジャンルを超えた映画や人々の出会いを生むようなプログラムを組み、制作者や観客側からも何らかの反応が起こるような、「熱」が生まれる場所を作りだし、提供するという意味を込めています。21世紀の映画文化を支える新たな才能を「映画のまち京都」から世界へ発信し、未来を担う学生の立場から映画文化のさらなる発展に努めていきたいと考えています。

Kyoto International Student Film and Video Festival 2009 celebrates its 12th anniversary this year. We, students in Kansai area, mainly from Kyoto district, have been running this film festival on our own, showing the outstanding movies and image works made by the students from all over the world.

Every year we pick one theme of the festival, and that of this year is "Friction". We are hoping to provide time and place for all sorts of people meets beyond genre and where people generate frictional heat by interacting each other among film producers and audiences.

We, as students who are responsible for the future, would like to contribute to the further development of the movie culture and introduce emerging new talents who would lead the 21st century movie culture from Kyoto, a town that loves movies and support film makers.

Competition

国内外の学生が制作した映画・映像作品を学生実行委員が審査し、厳選した入選作品を上映します。今年度は全 247 作品（国内 160 本・海外 87 本）が応募され、その中から厳正なる審査を通過した入選作品 12 作品を上映します。

The student films from all over the world are judged and carefully selected by the student committee and the nominated works will be shown. This year, we've received 247 works (160 domestic and 87 foreign works) and 12 works are selected.

※上映は全て DV になります。日本の作品には英語字幕が付き、海外の作品には、英語・日本語字幕が付き。Everything will be screened on video format. Japanese works will be screened with English subtitles. Foreign works will be screened with both Japanese and English subtitles.

コンペティション A Competition A

『日常の悪魔』
石井沙貴 Saki ISHII
英題：Evil in daily life
(Japan | 2009 | 29min | 16mm)

『Martina and the moon』
Javier Loarte
原題：Martina y la luna
(Spain | 2009 | 12min | 35mm)

『baby complex』
篠原彩子 Ayako SHINOHARA
(Japan | 2008 | 57min | DV)
(計 98 分)

コンペティション B Competition B

『狼疾の人ー或る小説家の話ー』
折笠良 Ryo ORIKASA
英題：A Foolish Novelist
(Japan | 2009 | 15min | DVD)

『Mother is a whore』
Lee SangWoo
(Korea | 2009 | 104min | Betacam)

(計 119 分)

プログラム A

『GO GO まりこ』 前野朋哉 昨年度準グランプリ
『ゆめの楽園、嘘のくに』 佐土原かおり 昨年度準グランプリ
『月のかけ』 吉野竜平 昨年度観客賞

コンペティション C Competition C

『THE GRANDFATHER』
Nikias Chryssos
原題：DER GROSSVATER
(Germany・Greece | 2009 | 20min | HDCAM)

『etude』 竹内友彦 Tomohiko TAKEUCHI
(Japan | 2009 | 67min | DVCPRO HD)

(計 87 分)

コンペティション D Competition D

『FAWN』
Christoph Rainer
(Austria | 2007 | 6min | 8mm)

『世界グッドモーニング!!』
廣原暁 Satoru HIROHARA
英題：Good morning to the world
(Japan | 2009 | 80min | DV)

(計 86 分)

コンペティション E Competition E

『Schahtag』
Marvin Kren
(Germany | 2008 | 23min | 35mm)

『Pal』 舟木健児 Kenji FUNAKI
(Japan | 2008 | 45min | DV)

『ラストメモリー：Which one is your last memory?』
堤真矢 Masaya TSUTSUMI
英題：Which one is your last memory?
(Japan | 2009 | 47min | DV)

(計 115 分)

コンペティション特別プログラム 2008 年度受賞作品上映

Competition Special Program — Screening films in kisfvf2008 —

プログラム B

『穢れ多き、人に非ず』 頃安祐良 昨年度準グランプリ
『月のかけ』 吉野竜平 昨年度観客賞
※昨年度はグランプリに該当する作品はありませんでした。

最終審査員 (敬称略) 11.28 SAT
授賞式に会場されます。

jury members

Takashi ITO

伊藤高志 (京都造形芸術大学映画学科教授)

実験映画『SPACY』で一躍世界の注目を浴びる。非現実的な視覚世界の追求をテーマに、最近ではダンスや演劇とのコラボなども行なう。

His experimental film "SPACY" catapulted him into the limelight. With his theme of pursuing the unrealistic visual world, he now collaborates with various dance and drama groups.

Kazuyoshi KUMAKIRI

熊切和嘉 (映画監督)

卒業制作『鬼畜大宴会』が各国映画祭で受賞。代表作『空の穴』『アンテナ』『ノン子 36 歳 (家事手伝い)』など国内外で注目を集める。

"KI-CHIKU" is his graduation work, which won the awards at many film festivals. Besides, his other works including "HOLE IN THE SKY", "ANTENNA", and "NON-KO" drew attention from home and abroad.

Takaharu YASUOKA

安岡卓治 (プロデューサー)

松井良彦『追憶のざわめき』(88)、森達也『A』(98) など困難な作品製作を実現、『花と兵隊』(09) など若手監督の作品の劇場公開に取り組む。

He succeeded in producing difficult works such as "Noisy Requiem" by Yoshihiko Matsui (88), or "A" by Tatsuya Mori (98). He has also produced young director's film such as "FLOWERS & TR"

Special event

越境者たち
～科学映画 & 芸術映画特集上映～

※上映は全てビデオ上映となります。

Beyond the Border ~ scientific films & art films ~

科学映画と、実験映画・抽象映画など芸術映画の特集プログラム。「科学」が「芸術」へと越境する瞬間を、明滅する光があたかも細胞のような輝きを放ち、科学映画と芸術映画がクロスオーバーする瞬間を体感せよ!

A プログラム ~ 抽象を乗り越えて ~ 99 分

A program Surpassing Abstraction

- ・ジャン・パルヴェ
『アセラ、または魔女の踊り』
『タツノオトシゴ』『液晶』『タコの性生活』
- ・マン・レイ『エマク・バキア』『ひとで』
- ・マルセル・デュシャン『アネミック・シネマ』
- ・石田尚志『部屋/形態』
- ・オスカー・フィッシャー『ハンガリアン・ダンス 6 番』
(東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品)

B プログラム ~ 宇宙のその果てに ~ 104 分

B program To the End of the Cosmos

- ・山崎博『HELIOGRAPHY』
- ・小林米作 撮影作品
『生命誕生』『潤滑油』
『マリノ・スノー - 石油の起源 - 』
- ・松山由緒『花』
- ・スタン・ブラッカーズ
『コミングルド・コンテナーズ』
- ・Sarah Lipstate『Interior Variations』
- ・牧野貴『still in cosmos』(※HD 上映)



小林米作 撮影作品『生命誕生』

招待作品上映

木村文洋『へばの』 Special screening『Goodbye』Directed by Bunyo Kimura



あらすじ

青森県六ヶ所村。そこに住む紀美は、再処理工場で働く治との結婚を間近に控えていた。父・大樹(だいき)と親子二人で暮らしてきた紀美は、治と新しい家庭を築いていくことにささやかな幸せを感じていたのだが、ある日、治は作業中にプルトニウムの内部被曝に襲われ...

監督 木村文洋

1979 年青森県生まれ。大学在学中より映画制作を開始。また、京都国際学生映画祭創設期の 2000 年より運営に参加し、2003 年には運営委員長を務める。卒業後、自身初の長編映画となる『へばの』を監督し、多数の映画祭で上映される。

Opening event

“つみきのいえ” に至るまで
～加藤久仁生学生時代を振り返って～

The Road To "Le maison en petits cubes"
～ Kunio Kato recal ls his schooldays ~

加藤監督が手掛けた第 81 回米国アカデミー賞短編アニメーション賞受賞作品『つみきのいえ』を含む 3 作品上映と、学生 × 監督 × 津堅信之氏(アニメーション史研究者)によるトークショーを行います。また、ロシアのアニメーション作家である、コンスタンティン監督の作品 2 本(加藤監督セレクト作品 1 本と本映画祭実行委員セレクト作品 1 本)を上映します。

Guest Kunio KATO
加藤久仁生 (アニメーション作家)

1977 年鹿児島県生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。映像制作会社(株)ロボット所属。2009 年には『つみきのいえ』が日本人初となる第 81 回米国アカデミー賞短編アニメーション賞を受賞する。



『つみきのいえ』(c) ROBOT

学生って何んだい?
—サイレント青春映画 活弁上映—

Katsuben—Yasujiro Ozu's silent college comedy—

最年少活弁士 麻生子八咫さんによる活弁!
ジャズピアノによる伴奏つき!!

活弁とは、サイレント映画時代に流行した日本独特の興行方法です。アニメのアフレコと違い、作品上映中にライブ形態で活弁士がセリフ、ナレーションをつけ、伴奏を流し、臨場感たっぷり楽しめる上映形態です。今回の上映ではジャズピアノの伴奏が付きまます。

上映作品

『落第はしたけれど』 小津安二郎監督

flunked, but Directed by Yasujiro Ozu



(c) 松竹株式会社

Guest Koyata ASO
麻生子八咫 (あそうこやた) (最年少活弁士)

活弁士として 10 歳でデビュー。2003 年、第 48 回文部科学大臣杯全国青年弁論大会にて文部科学大臣賞受賞。今年秋、獨協大学卒業。



※DVCAM での上映となります。